

■ 発言要旨

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
1	小学校は両校が統合対象にあたり同一の立場になると思います。中学校は北ノ川中は吸収される立場になると思いますが、「新しい学校をつくる」というイメージでは、保護者が頓着しなければ大正中になりますというイメージですか。 「新しい学校をつくる」というイメージであれば、学校の名称も変わる、校歌も変わる、制服も見直してということになるかと思いますが、北ノ川中の方が人数が少ないので中学校に関しては吸収される形でしょうか。小学校に関しては制服がないので校歌・校章の変更くらいでしょうか。 17ページに中学校の計画を記載しております。大正地域においては大正中が適正規模を満たしており、北ノ川中は適正規模を満たしていません。形としては大正中の校舎を使いますが、大正中という名称を用いて統合という形の計画にはしていません。イメージとしては、吸収の統合をイメージされるかと思いますが、3ページに保護者・地域住民の理解と協力ということに記載しております。学校統合はともに新しい学校をつくるイメージで取り組みますということで、北ノ川中と大正中の統合に関しましても、ともに新しい学校をつくるイメージで取り組むということになります。どうしても人数が少ない学校が吸収というイメージになるかと思いますが、計画のうえでは新しい学校にしております。それで、窪川地域における窪川中と興津中においても同じです。計画としてはそういった形を取っております。
2	北ノ川の保護者としては規模が小さいですし、特に保護者から何も言わなければ何も変えずに大正中に行くって話になるのか、そういう話があってもなくても町としてつくりますに持っていくかによって、随分違うのかなと思います。大奈路も合併してきたと思いますが、大正中・田野々小に入っていくってイメージが強いです。これからの統合に向けて保護者同士でやり取りしなければならない時に、労力に違いが出てくると思うんです。北ノ川の方が、ひらがなの「たいしょう中学校」にしてほしいときは協議して行って、町として絶対的に変えましようとしてくださるのか、そうでないのか。 適正配置計画では校舎位置を大正中にしております。ただ、そのなかで何がなんでも北ノ川中の保護者の方で校名を変えてほしいとかいうことになれば、大正中との協議になってこようかと思えます。そのあたりは保護者の意向もあろうかと思えます。このことについては実際、十川中・昭和中が統合のときにも話が出ておりました。最終的には十川中ということで校名はそのままにしようとしたわけですが、例えば将来において、校名の変更が必要ということで保護者の方々の判断が出ていけば、そういったこともあり得ると思います。ただ今回は行政側の方で校名まで変えるということまでは言及していません。
3	北ノ川小中の良いイメージが反映されてないと感じます。四万十高校と大正中はソフトやジャズで連携ができていますが、北ノ川中の陸上部も頑張ってますので、そういったところはイメージとしてないまま、この資料でいかれると本当に吸収だけの統合になるんじゃないですかという印象を受けますね。 北ノ川小・北ノ川中、それぞれ本当に良さがああります。中学校の方は、それぞれ、連携の取組もありますが、陸上の方は過去に優秀な先輩もいらっしゃいましたし、全国に通用する方も輩出されて、現在の北ノ川中에서도部活動の取組はされているわけです。この中では記載がないところが残念ということであろうかと思いますが、新しい学校をつくるイメージにおいては、それぞれの学校が取り組んでいる良さというものを出していけるような形にしていきたいと思えます。
4	校章も変わらないということですね。 それも協議ということで、例えばスクールバスの説明をさせていただきましたが、やはりいろいろ心配な点や不安な点があるかと思いますが、そのあたりは協議をする中で、保護者・地域の方にもこういう形で適正配置を進めていきますよということで理解をいただかなければいけないところがありますので、今後の協議ということになるかと思いますが、 17ページにありますように、校舎位置は大正中にするということです。その中でそのまま大正中の校章であるとか制服であるとかいうところについて、ご意見を出していただきながら協議をする中で進めていくということでもあります。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
5	北ノ川中の人数が少ない中で協議といっても、今日参加している保護者が少ないので、協議の場では少ない人数の方がどうしてもキャンキャン言ってるわっていう話になると、多数決では負けますよね。制服に関しても、極論ですけど、学校は大正中にします、制服は北ノ川中にしますっていう話ではないので、統合したら町としては卒業するまではそれで構わないと言ってくださると思いますが、人数が多い状態で人数が少ない制服で行くっていうときに、それでも構わないっていう子もいるとは思いますが、やっぱりいやだっていう子は服を買い替える、揃える、新しいものを買う時は大正のものに買い替えるっていうことだと思いますが、だんだん多い状態で卒業式のときには、みんなが同じ制服になるのかならんのか、そうしたい中学生、学ランでいえばボタン変えるくらいでいけるんでしょうけど、女子ではそういったところもイメージを持ってしまいかねないということを考慮されたときに制服代は町が補助しますとか、そういう話は出るのか出ないのか、それは言わないと出ないのか、それとも四万十町全体に対して、そういったことを言うてくださるのか、少ないところが言うていっても、どこまで協議してもらえるのか。 今後、計画に沿った形でいくにあたっては、いろいろ心配な点あるかと思います。いま、正に出していただいた制服とかスクールバスのことはまた後でご意見もあらうかと思いますが、制服とかいろいろ心配な点を出していただいて、我々としても町としてできるところを精一杯、財政も伴ってきますけれども、内部で検討しながら、こういった場をまた設けて、こういう方向で行きたいのですがどうかということでの合意形成していきたいと考えております。
6	いまのことについては、協議対象になりますか。学校間で話をしていく。大正中との話し合いの場に出して協議しないといけないんですか。 いま聞いたところのご意見ということで承っておきたいと思います。 3ページに、ともに新しい学校をつくるイメージでと書いているのは、圧倒的な人数の差がある窪川中・興津中でも、小さい学校、少ない学校のところを思っているところがあると思います。一気に吸収というイメージだけでとったらいけないので、いままで学校の文化とか素晴らしい取り組みもされておりますので、話し合いの中で、新しい学校をつくってもらいたい思いがありますので、この一文を記しております。ですから、今日気づかないところもあらうかと思います。それは協議の際に大いに意見を出していただいて両方の学校で良い方向を、それから町としてできることは承って、その中で進めていくということです。簡単な表記で記していれば、例えば大正中に統合すると記載した方がズバっと分かりやすいですが、それではダメだということを教育委員会も思っていますので、新しい学校として取り組むということでもあります。
7	この文章を読ませていただいたんですが、ともに新しい学校をつくるイメージということだったと思うので、なかなか大変な話になるうかと思います。協議もするって言われますけども、絶対的に人数の多い方へ、話をするってことは大変なことで、それを通す通さんっていうのは協議によると思うんですけど、共感してくださる方も一定いるかと思いますが、それを通してまで変えていこうって思う方がどれくらいいるのか分からないので、ともに新しい学校をつくるイメージで書いている以上は、町として新しい学校をつくります、こういうふうになりますっていうのをバーンと出していただかないと話し合いにすらならない、持っていけないと思うので、こうこうするっていうのをちゃんと挙げていただいて、選択肢として大正中としてそのまま残るっていう案があってももちろんいいと思うんですけど、第一基準として協議のうで変えてもらうのは構わないけど、変わらない方が楽なのかなと考える保護者の方もいると思います。会の中で意見を出す大変さを分かっていたきたい。ちっちゃいところの意見だけ通すんじゃないくて、両校の統合という形を進めていく必要があると思います。 -

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
	先ほど言われましたけど、1年半協議をして、協議しているなという実感が正直湧かない。やっぱりこうなるんだなと。今の話でいくと制服の話ですが、制服に関してぐらいある程度考えてないのかと思います。その辺がづらいです。制服くらい一緒にする、北ノ川小学校は人数が少ないままでいいじゃないかと思ってるのかもしれませんが、自分の子どもや孫に一人だけ赤いパンツをはかして一人だけ学校に居れるのか少し考えたら分かることだと思うんですが、そういったことをもう少し考えてほしい。町が進めているのだから、我々はいろいろなことを言っていますが、反映されないのがもどかしいし、子どもが嫌がっても従わざるを得ない。それなら引っ越せという話ですから。だからそういうのも考えています。 それと、なぜ地震まで待てなかったのか。すごく寂しくて。この資料を見ても北ノ川中は安全なのになぜ。統合すると北ノ川中を通り過ぎて距離が遠くなる。なぜ地震まで待てなかったのかっていうのがすごい寂しい。 今回寂しかったのは、ここに集まった保護者が少なかったこと。 教育長が区長会のときに仰っておられましたけど、この話をして移住が来ない、Iターンが来ない、戻ってこないっていう話をしたときに、1人の区長さんがIターンが嫌やったらって話をしたときに結構みんなくすくす笑っておられましたよね。要は少人数で立ち上がって喋るってそういうことなんですよ。それで、北ノ川中・大正中に関しても少人数でいるってことなんですよ。いままでもそうでしたけど。それをちょっと横に入れるような仕事に対する姿勢に変えていただければ、ありがたい。 それとスクールバスのことです。 スクールバスで鳥手集会所前が停留所になっていますが、数年前に児童がつけられる事件が発生して、鳥手集会所から小学校方面へ必死で逃げてきたことがあった。あそこは夕方あの限界で一番危ないんですよ。それが停留所っていうのは困ります。 それで、これからいろいろ制服とかもそうだと思うんですけど、こうなった。こうこうこうだから困ります。っていう問題が出てくると思います。その時に異議申し立てをどういうふうにしたらいいですか。説明会ではこうだったけど、実際始まってみたらちょっと違う部分があった。変更してくれという異議申し立てはどうすればいいですか。
8	制服についてですが、まず行政の方からしっかりと出すべき姿勢ということですね。我々も協議をしていく中において、そういった話は出ております。そしたらなぜ言わないのかということですが、保護者の方との意見交換や質問を受ける中でやり取りしながらですね、子どもたちがどういった形で学校に行くようになればいいのか、意見交換の中で我々も進めていくべきだなということで、制服の費用は出しますというところは今回出さなかったわけですが、適正配置を進めていくにあたっては、しっかりと声を捉えて、今から先、いろいろと段々に合意形成を図っていく必要がありますので、その中で、例えば制服だけではなく、別の中学校においてはジャージ(の費用)とか、関係していきますし、そういったことも含めて話をしながら心配な点や不安な点そういったところをしっかりと合意形成を図りながらいきたいと思っております。話をしながら、よしこれでいこうということを持って、適正配置を進めていきたいと思っております。そういった中で、制服代を出すか出さないか分からんような話をしよったかもわかりませんが、我々もしっかりとご意見を聞かせていただいて、繋げていきたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。 それと、なぜ地震まで待てなかったのかということですが、そういったことも一つあろうかと思いません。時期的なことについては、南海トラフの本当に心配な点もある中で、我々も一番は子どもたちの現状、教育環境をしっかりと整えていきたいと、先日議会もありまして、そういった思いをお答えしたところですが、例えば小さい学校をそのまま置いておくという方法もあったのではないかとという質問がありました。我々もしっかりと前を見て子どもたちのこと、教育環境をしっかりと考えていく中でしっかりとした方向性というのは出すべきではないかというところで、出させていただいたので、安全安心というところでは、町も危機管理課をはじめ全体の中で危機管理意識を含め防災意識を高めていくということで進めておりますのでご理解をお願いいたします。 スクールバスだけではないと思いますが、異議申し立てということは、例えば統合になってスクールバス走らせたしますよね、こういったルートの設定をさせていただきました。走らせて異議があつては大変な事ですので、もちろん統合の前にご意見いただいて話し合いをして、これで行くという合意の下で進めていくわけです。先ほど仰ったように危険なこともあったということですので、そのままスタートさせるわけにはいきませんので、十分話し合いの中で決めて統合になってスタートする形を取りたいと思います。それで尚且つ、いかにかつたら直さなければいけないわけですが、まず子供の安全第一ですので、統合までに十分協議をし尽くして進めたいと思います。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
9	統合になっていかなかった場合にどうすればいいですか。
	統合の有無に関わらず、逐次連絡いただければと思います。
10	スクールバスでいえば集会所でなくて、例えば手前の家で乗り降りできますよというような幅を持たせてもらえるということですね。
	そこは考えなければならぬですね。そうならないようにある程度想定して統合までに十分決めたいと思います。
11	こういった会は続けますか。
	統合までに何回も会をしなければなりません。 ルートも含めて停留所もです。ルートもこれでよいかご意見をいただければと思います。こういう案でどうでしょうという形で出させていただいておりますので、40分以内くらいで行けるルートを設定させていただいております。(スクールバス)1本で行くという案もありましたが、1本では(40分という時間の制約上)無理でしたので、2本にしております。 これらの件について、統合してからではなくて、統合までに十分話をする必要があります。
12	統合した後に、子どもに不都合があったときにどうするんですか。
	不都合は逐次、教育委員会に仰っていただければ、改善に向けて検討させていただきます。
13	今の話で言うと、口々に言うと、子どもたちが親に言うタイムラグもありますけど、親同士でも子どもが感じるまでの時間に、仮に1ヶ月で感じた子もいれば、3ヶ月で感じる子もいて、最初に同じ意見だとしても、先に言う、2回目3回目に言うでやっと動かれるのかってことですよね。口々に言ったところで、つけられたことがあるから家まで送ってくれっていう話をして、これはどうなんだろうって協議されるんじゃないかと、こういう場を統合後もしっかり持つっていうことをこの場で確約していただかないと、この資料を見て言っているのに口々に言ってっていう話ではいけないと思うので、仮にスクールバスの件で言うと、遠方から来てるのに最後の家まで行くっていうのにしないと、結局停留所まで来ました。事故に遭いました。親は仕事に出ていない。子どもたちのことは分からないっていう状況が一番怖い。スクールバスであれば、案ということで、家まで知らないバスのおじさんに連れてってもらうのが嫌っていう子もいるかもしれないし、バスの運転が荒いから嫌だとかはいいますけど、タバコ臭くて嫌だとか、それ以前の話し合いをする中ではこうしようというのと、私たちは意見が言いたいのに、そういう場をつくってもらわないといけないですね。
	3ページをご覧ください。新しい学校をつくるイメージ、保護者・地域住民の理解と協力を得て、新しい学校をつくるという、先ほど説明させていただいたところですが、今後保護者・地域から意見を聞く場を統合後も含めて設けます。また、統合後も、統合前に協議されたことが履行されているか検証しますという文言があります。計画の中へこういったことが記載されていますので統合した後も検証する場、意見を聞く場所、そういう機会を設けたいと思います。統合しないと分からないこともあるかと思いますが、特に安全面については配慮しないといけないわけですので、いろいろとご意見出してください、統合前にしっかりと協議をしたいと思います。スクールバスの件で、明日から変更したいと言ってもすぐには対応できないこともあろうかと思いますが、そういったところは、どんどん意見を出していただいて、協議をしたいと思います。
	子どもたちに社会性を付けるためには、ある一定の人数がいらないといけないような記述があります。先日の議会で一般質問がありましたよね。統合の問題が出ていたと思います。少ない人数の方が良いような質問があったときに、教育長がそれを否定するような答弁をしましたよね。結局、北ノ川の現状を見たら、人数少ないですね。ですが、学校の先生が一生懸命、社会性等を育むための教育をしてきているとは思いますが。北ノ川の場合は小1から中3まで同じところで育ってきてますよね。その場合に小5、小6、中1の子どもたちの気持ちを考えてあげなければならない。そのあたりを審議会の中で、どのように捉えていたのか、窪川では、小学校を卒業して窪川中へ、そして卒業して高校へ自分で選択していく。いきなり統合ではあまりにむごいのではないかと。心のケアを先生方をしてくれるとは思いますが、教育委員会としてはどのような考えを持って、また審議会の方はどんな協議をしたのか教えてもらいたい。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
14	審議会へ諮問をかけて答申ということですが、実質的には推進本部会がありまして、町長を本部長として会の運営に当たってきました。新聞にコメントも掲載しておりましたが、社会性の話がありました。議会の方では3議員より適正配置について質問があったところです。 小規模校の学力だけ捉えて小規模校が良いのか、あるいは大規模校が良いのか、大規模校と言っても窪川小中は都会からみると中規模校のちょっと下くらいの規模になるのかなと思います。 同じ子どもたちが少人数学校へ行った場合と大規模校へ行った場合との比較ができておりません。同じ子どもたちが同じ小規模校で1年学んだ場合、あるいはちょっと大きな学校で学んだ場合、比較したデータはありません。年によって、子どもたちによって違います。データの的に少人数が良いという有識者もいますし、逆に大きな学校でないとダメだという有識者もいます。これは、そこを言い出したら果てがありません。どちらも否定するものではありませんが、先生方は小さい学校は小さい学校なりに一生懸命工夫して、一定少ない教員数でいろいろと教員が例えば研修があるとか、また病気で休まれたとかいったときには本当に工夫されて、子どもたちの授業を上手に埋めていってカバーしながら成長させていっていただいているところです。 我々も一番は、複式校の中でも完全複式、1・2年生が1クラス、3・4年生が1クラス、5・6年生が1クラス、そうなった場合には、先ほど説明させていただいたように校長先生を含めて4名の先生ということになりますと、校長先生が1名、教頭先生1名と教諭2名、あるいは教諭3名で児童を教えていかなければならない。中学校の場合には、専門の教科というところで、専門的な免許を持たない先生が、例えば国語の先生が社会を教えたりとか、数学の先生が理科を教えたりすることがありまして、それでもなかなか大変な場合には、専門性を持っている先生方に他の学校から来ていただいて教えてもらうことがあります。 単に教科書の知識や技能を習得させるのではなく、児童生徒が一定の規模の中で多様な考えに触れ認め合って協力し合う、そういった場があれば、子どもたちが広い視野に立って、決して小さい学校では視野が狭いということではないですが、我々も審議会の委員さんも1学年に1人という学校も見してきました。そういった中で今から先の教育が求めている主体的・対話的・深い学びということが言われています。いまの環境で学習ができていくだろうか。工夫の仕方のできるんじゃないかと言われる見方もありますので、これも話し出したら平行線で行くのかなと思います。 一つ言えるのは多様な考えに触れていくということについては、人数が多いほどいいんじゃないかと考えております。子どもたちが一定規模の児童生徒数が確保されて、子どもたち・教職員の方々が一定しっかりと目を向けれるような配置、環境を整える必要があるのではないかなと思います。 議会の中では、祖父母また地域の方々が寂しくなるのではないかなという質問があり、それは寂しくなるだろうと答えました。ただ、みんなまで全て行き渡るかは難しいかも分かりませんが、コミュニティスクールであるとか、地域学校協働本部であるとか、現在北ノ川小中でも地域の方々と関りを持ってもらってますが、適正配置、統合という形になっていったとしても、地域の方々が参画しやすい形は作っていかなければならない。それとそれぞれの小中学校の良さを、ふるさとで育てていってもらいたい、関りは持っていてもらいたいと思っています。 子供たち、先生の数をしっかり据えていく必要があると思います。それは町でできるんじゃないかというご意見があるかも知れませんが、特別支援教育支援員を学校の要望があれば、しっかりと配置をさせていただく。できることを精一杯やるということでもあります。
15	子どもたちへのケアは先生方は今でも苦労していますが、どのように考えていますか。 適正配置では中学校が早い時期になりますので、交流をしていくことが一番大事なことだと思っていますので、大正中の方と交流学習やいろいろな仕組みづくり、これは学校間、学校の協力をいただいて、交流の場というところも設けていかなければならないと思います。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
16	統合の時期は決まっているので、準備をしていくしかないと思いますが、先ほど中学校の交流と言われていましたが、北ノ川中から大正中に行くにあたって、深い話をするとところまでいかないのではないか。 教職員は通常の異動で、全ての先生が替わるということは通常ないと思いますが、担任の先生がおられて、主任の先生がおられて、学校の伝統や文化を継承してきたと思います。 子どもたちは大正中に行きます。北ノ川中の教職員は一人も行きませんではいけないので、仮に北ノ川中の教職員は2人、子どもたちとともに大正中に行くことが必要ではないですか。 支援員さんは確実に最初から配置してほしい。親の話・子どもの話から話を持って行って、2学期からつけますと言われても、1学期の4か月はタイムラグが生じますよね。その時点でしっかりと4月からちゃんとつけますって話になるのかならないのか。 教員も、産休代替えや病休職員の代替えで、講師がなかなか配置されないですよ。先生が足りない状況が見えているので、サポートをしっかりとしてほしい。 子どもたちは楽観的なところもあるので、親が子どもたちにきちんと説明ができるくらいまで納得させていただきたい。 後の話し合いで、後々決めていきましょう。ある程度決まりますけど、保護者は子供ではないので、子どもの立場で考えると十分でない。 -
17	小学校・中学校の教職員は、教育長の裁量で異動ができますよね。 子どもたちのアンケートや意思表示する場は作っていただけませんか。 親が決めて、町が決めて、子どもは行けでは、あまりにもかわいそうではないですか。 アンケートという形ではないですが、交流は進める必要があると思います。 統合した際に、知っている先生が一人もいないではいけないので、最大限配慮したいと思います。 十川中と昭和中の統合にあたって教員の配置については最大限配慮したところですよ。 先生だけで子どもを見守るのではなく、支援員も含めて見守っていく必要があると考えます。十川中と昭和中の統合の際にも、そういった点に配慮したところですよ。子どもたちの様子を見ていく中でも、先生方と連携して見守っていきたいと考えます。
18	十川中・昭和中に関してですが、2校が統合し、クラブ活動についてもいろいろ話し合いをしました。スクールバスの時間も決まったかと思います。ただ統合してみると1年生に限っては練習前に準備をしなければならないという伝統があって、スクールバスでは間に合わない。親が送迎するという話を伺ったことがあります。そこは話が違ったと。十川中の伝統なんです。伝統が優先されたんですよ。送迎の都合ではない。親は行かなくていいと子に言いますが、子の立場では行かないといけない雰囲気。やってみないと分からないことはやっぱりある。それは十川中に限らず、他の学校でも同様ではないか。 -
19	大正中と北ノ川中が統合した際に、新しい学校のイメージとして挙げられているものは、各学校に聞き取りをして作成されたものであると思いますが、全町に文書として配布されるのは心外で残念に思います。合併する側の学校のリードで作っている印象をうける。両方に聞き取ってから提言していますか。そうでないと、いわゆる本校はこうである等の例えば伝統とか片方の意見が強くなるのではないか。北ノ川中も大正中も両方が新しい学校をつくるというイメージで取り組まないといけないのではないのでしょうか。お互いの良さを引き出し合うことが大事ではないのでしょうか。 3ページに新しい学校をつくるイメージとありますが、十川中と昭和中の統合のときに、十川中の伝統が優先された、今の話では結果的に昭和中の生徒が従わざるを得なかったと、そうならないということなので記しております。新しい学校をつくるイメージも本当はまっさらというイメージも必要ですが、基本的には学校の伝統を尊重して良いところを持ち寄っていきたいと思います。この文言を入れたのは、人数の多い学校の方だけを尊重してはいけないということです。
20	新しい学校をつくるイメージ像のなかで、北ノ川中の取組が記載されていないのは悲しいし、話し合いをしても完璧はなかなか無理で、記載していることと答弁が違うし、1年半時間を費やしましたが、こちらからしたら結局時間の無駄なんですよ。何を言っても何も通らないし、何も変わらない。 -

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
21	以前説明した時に、小学校は4校に統合するという説明でしたよね。仁井田小と影野小、七里小と米奥小は令和3年時点の児童数を見て判断する内容ですよね。議会答弁等で近隣校と統合と言っておられますが、近隣ならば北ノ川から近い、川口小と統合する意見は審議会では出なかったですか。 旧町村の枠組みに固執すべきではないのではないですか。 スクールバスで通うようになったときに、バスに弱い子のケアをどのように考えていますか。 審議会で協議された内容を教えてもらいたい。 川口小の話も出ておりましたが、地域性を大事にして、旧の十和村、大正町、窪川町それぞれ地域の中に小学校・中学校が必要であろうと思います。状況から言うと、大正地域も十和地域もかなり厳しい状況にあると思います。かといって、窪川が大丈夫かといえばそうでもありません。地域性を大事にしていこうということは会の中でも出ていた意見です。ここ北ノ川は窪川方面へ働きに行かれていての方がいる地域ですので、川口小と統合という意見も出ておりました。会の中の意見として、旧町村それぞれの地域性は残していかなければならないということで、北ノ川は大正へ、窪川は窪川でそれぞれありますけど、十和では昭和の小が十川小へというところで、それぞれ地域性を残していくことで、それぞれ旧の町村には1小1中という形では残していく必要があるのではないかと思います。極端に言えば、都市部で言えば四万十町の中で1小1中でいいんじゃないかと言われることもあろうかと思います。
22	中学校で見れば北ノ川の子が大正へ行くことは構わないと思います。 小学校は今度6年生になって、その子どもたちに大正へ行くか窪川へ行くか選択させてあげてはどうでしょうか。 議会の答弁を聞いていると、近隣校と統合ならば、川口小ですよ。 以前の北ノ川小と家地川小の統合の話のときも、子どもたちはどっちでも良いですけど、大正とは嫌だという意見が出て、現在の形になりました。審議会の意見の中で、川口小と北ノ川小の統合という意見は出なかったですか。 会の中では意見がありました。 ですが、旧の十和村、大正町、窪川町のそれぞれの地域性を大事にしていく必要があるということで、結果的にはこの計画のようになっておりますが、意見の方は出ておりました。
23	統合の問題ですが、ただの人数合わせではないですか。 川口小と北ノ川小が統合すれば、仁井田小と影野小が統合するよりも人数が多くなりますよね。 それならば、但し書きを改めて小学校は4校でいいじゃないですか。 いまの北ノ川小中の状況をみると、少ない教員数で一生懸命やっただいて、社会性等が人数が少なれば身につきにくいと言うことは容易いですが、現場がどれだけ苦労しているか知っていますか。 教員の中では、学校規模の大小により、こちらの方が良い悪いという思いを持たれている方もいると思いますが、あと数年すれば中学校は統合ですよ。 先生方は、自分の職場がなくなるのに、何も声を挙げられないのはひどいのではないかと。 今日は、先生方来ていただいております。 先生方に発言の機会を与えないわけではありません。 保護者の方を対象にした説明会ではありますが、今後、町長とも、適正配置に限らず会に来るようになっております。 来ていただいた方には、是非発言いただければと思います。
24	地域の方への説明は、いつ頃を予定していますか。 地域の方々へは11月の後半からを予定しています。 保護者向けに12小学校区で説明会を行った後に、地域向けの説明会を予定しています。
25	2つお願いがあります。 - 今日の議事録を作成して、今日来てない保護者もいるので、全保護者に情報共有していただきたい。 - 保護者から仮にPTA会長の名で要望書等の提出が教育委員会にあった場合は、文書で回答して、互いに情報を共有いただきたい。 今日の議事録については、Q&Aのような、質疑・意見と回答のような概要版を保護者の皆さんに出したいと思っております。 また、PTA会長から要望書が来た場合については、教育委員会として受け取って回答するという形で対応したいと思いますので、よろしくお願いします。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
26	全会場をまわってから議事録を配布いただけるのか、北ノ川だけの議事録を配布いただけるのか、できれば、北ノ川の議事録は議事録で配布を、全体のは全体ので配布をお願いしたいと思います。 学校統合に関して、ともに新しい学校をつくるイメージで取り組むとのことですが、仮に新しい学校をつくりたいと、例えば統合して、ひらがなのたいしょう中学校をつくりたいと決まった場合、校章・校歌・制服全部いろいろいろいろ変えたいとなったときに、あと1年半で間に合うんですか。今の段階から取組んだら早いとは思いますが、例えばあと半年しかないといったときに間に合うのでしょうか。 例えば、統合後において、そういう話になれば、その時点でも、校名を変えてほしいという声が高まれば、協議していくことになるかと思えます。 十川中と昭和中の統合のときに同じような話が出てました。現状では十川中ということになっておりますが、例えば将来的において、保護者や地域の中において(校名を)変えていくことになっていけば、校名を変えることもあると思えます。
27	今度の統合には間に合わないということですね。 まだ時期がありますので、中学校は令和3年、小学校は令和6年ですので、確実性という部分においては明言できない所がありますが、それぞれ双方、保護者や学校において、そういった話が出るということであれば、可能でないかと思えます。
28	他の学校で統合を経験されている方は、あきらめムードというか流れに乗っていくしかないだろうという意見がありますが、児童生徒数が少ない学校の声を拾い上げてもらいたいし、どこかに投げかけていただきたい。 今日だけで意見交換等が終わるわけではありませんで、今後計画を進めていくうえで足を運んで話しながら、スクールバスや制服の件であるとか、そういうことを詰めていかなければならないと思えます。今日は、計画のことを説明させていただきましたが、何回か会を重ねながら詰めていくということになってきますので、皆様とともに合意形成を図っていきたいと思えます。 今日頂いたご意見については、合意形成に努めていきます。 また、今後皆様から出てくる意見につきましても、同様です。 ただ、全てが全て双方が思っていることが通ることを約束するものではありませんので、よろしくお願いします。
29	校章の話でも変えるのであれば、いついつまでに話をまとめて、こういう手続きで進めて、体育館にある垂れ幕も変えてというような選択の合意になりませんよね。私たちがあきらめるのを時間をかけて待っているような印象をうけます。合意形成もあきらめるまで待ちますよっていう話です。行政がもっと前のめりの姿勢で仕事をしていただきたい。子どもや保護者が選択できるようにいろいろな具体例を提示いただきたい。何かをするのかしないのかレベルではなく、しますやりますという姿勢を示していただきたい。 我々も向き合っていくにあたって、子どもたちの将来を考えて、皆様方の想いを出していただきました。適正配置計画が策定をされたわけですが、今日の会だけをもって終わらしていくということではありません。話しながら、主は子どもたちのため、将来を考えながら、子どもたちのことを想うという視点は一緒だと思いますので、今後もこういった場を設けながら進めていきたいと思えますので、今日は詳細まではいかないかも分かりませんが、頂いた意見を具体的に一つ一つ詰めていきたいと思えます。
30	川口小との統合をもう1回考えていただきたい。 適正配置計画を策定するにあたっては、町長を本部長とする本部会、また審議会の方へも諮問をして、答申をいただいたところです。それを持って最終的に計画を策定したということになっておりますので、現状では本計画に沿った形で話を進めていきたいと考えております。 現状では再考は考えておりません。
31	令和3年度に中学校の統合計画とありますが、これは令和3年4月からということの計画でしょうか。なかなか高い壁がありますね。 中学校は令和3年の4月からです。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
32	今日はいろいろな意見が出てましたが、打井川小・打井川中の2度の統合を経験しておりますので、こういった話を何度も繰り返しましたが、1歩進んでは2歩下がってを繰り返しましたが、令和3年4月に統合が実現したとしたら、これから限られた時間の中で、どういう手法・手段で保護者・地域との合意形成を図りますか。町としての姿勢を示していただきたい。統合にむけてのタイムリミットはいつですか。 中学校については、令和3年4月を目標にしているところです。適正配置の基準として基本的な方針を2ページに記載しておりますが、望ましい規模の基準となる生徒数として、令和元年度の確定値ということで、現状でいくと、基本方針を持つ中で、話というのは今日の1回ということにはなりません。次にいつこういって話ができるのかということに関しては追って計画を立ててということになりますが、今日出たご意見を取って帰って具体的に検討しなければならないことがありますので、財政上の都合もありますので、検討していく、話もしていくということになっていきますので、本計画通りでいきますと、令和3年4月に統合ということになってきますので、方向性もしっかりと出していかねばならないと思います。例えば中学校の場合ですと、令和3年4月統合を予定しておりますので、その手前令和2年4月に即ということになるかは分かりませんが、1年くらいは余裕がほしいです。記念誌であるとか調整しなければならないことがたくさんあります。 昭和中の場合は、ぎりぎり間に合うかどうかというところで、6月・7月に話をまとめて、十川中へということになったわけですが、できるだけ1年前には調整ができて、保護者との合意形成、確認というものも取って、その中で進めていったという経緯があります。 今日頂いたご意見をもって、次回話をするときには、こういうことには、こういう方向性で考えていきたいですとかいうようなやり取りを進めながら適正配置計画を進めていきたいと考えております。 いま、お話をしたのは中学校ですが、小学校も同様です。
33	中学校の問題を先に片づけておいて、小学校とは別に、中学校の問題を協議した後に、小学校のことを協議してください。 興津中と北ノ川中を先行して、教育委員会としては入っていくようにしております。保護者向け説明会は全12小学校区を回って、次に地域も回りますけど、地域を回りながら、年明け早々には2つの中学校区には教育委員会としては入りたいと思います。 中学校の統合が早いので、先に中学校の方を取り組みたいと思います。
34	話の内容としては、統合する話なので、合意形成ができて統合に向けての準備を進めていくと思いますが、学校現場では人員が不足している状態にあり、音楽の先生は他の学校から来ていただいている状態にありますよね。統合1年前には人員を多めに配置するとかいう配慮を見せていただきたい。少ない人員になお負担をかけるようにはならないように配慮をお願いしたい。 過去の事例にも照らし合わせたことを言いますが、県費負担教職員の配置については、県の方はなかなか厳しいです。ただ、県とのやり取りはしてます。町としての考えは、本計画を進めるにあたっての、少なくとも1年前には、いろいろと例えば記念誌を作っていくとか、事務的な対応をしなければならぬ事案が出てきます。人力的な面で言うと、事務的な面の対応ができる方の配置をさせていただいて、事務を進めていくようなことは考えていきたいと思っております。 なるべく学校に負担をかけないようなことは精一杯やっていきたいと思っております。 教員については厳しい現状があり、講師の配置がされずに、病休であるとかで講師が配置されないケースについても、待っていただいて配置がやっとできたりといったケースもあります。
35	今までの話を聞いて、今度言います。みたいな回答が多く、北ノ川中から出た意見は大正中との協議に多くの時間を要する場合もあるかもしれませんので、スケジュール管理的にも不安がなくなるように早め早めの対応をお願いしたいと思っております。 -

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
36	統合がまだ先なのかなと思っていましたが、時期が迫っているということで危機感を感じました。今日の議事録を回してくださるとのことでしたので、ありがたいなと感じたことでした。なかなか参加できないけど、こういった意見が出ているということを知れることは良いと思います。 適正配置の新しい学校をつくるイメージという話が聞いたことは良かったです。吸収のイメージが強かったんですが、適正配置の中で、こんな学校にしたいとかこういう教育理念、こういう教育になりますよとか、北ノ川の母校がなくなる子にとって行ってみたいと思えるような学校像があれば、行ってみたいと思えるようになるのではないのでしょうか。 放課後児童クラブは、田野々から帰ってきて北ノ川地域で子どもたちを預けることができるのか伺いたいです。 放課後児童クラブ・放課後子ども教室については、統合したからといって直ちになくなるかといえばそうではなくて、例えば窪川小では口神ノ川小と統合したわけですが、現在も口神ノ川小の体育館を利用して放課後子ども教室を行っています。そういうような運用も検討する必要がありますし、必要であれば実施することも可能であると考えています。